

■ PC グラウト事業説明会(東京会場)質疑応答

番号	質問	回答
1	各和橋は支間が短く、桁高も低いことから、PC 鋼材のケーブル長も短い。PC グラウト充填調査の結果、充填不足箇所が無い可能性もあるが、その場合の対応はどう考えるか。	過去に実施した非破壊による PC グラウト充填調査(サンプリング調査)の結果、充填不足箇所があることを確認している橋梁である。
2	各和橋は、名古屋支社管内の橋梁と比較して桁高が低く、PC 鋼材のケーブル長も短いことから、シースの径も異なると想定されるが、その違いによる比較検証は実施するのか。	試験施工を通じて得られた情報を基に、NEXCO において検証を行う。
3	各和橋の PC グラウト再注入の具体的な工法名は何か。	PC グラウト再注入の工法指定はしていない。注入方式のみ指定しており、真空併用方式となる。
4	各和橋を工事の対象として選定しているのは、外観の変状によって選定しているのか。	過去に実施した非破壊による PC グラウト充填調査(サンプリング調査)の結果、充填不足箇所があることが確認されたため選定している。
5	塩分量調査は、非破壊調査で実施するのか、微破壊調査で実施するのか。微破壊調査とする場合、PC グラウト充填調査の削孔径では、塩分量調査における試料採取するための径が不足する。	調査は、PC グラウト充填調査のために削孔した孔を拡大削孔し、試料を採取し、塩分量調査することを想定している。
6	未充填箇所における塩分量調査は、PC グラウト界面でとることが理想的であると考え、グラウト界面での試料採取は難しいことが想定される。試料採取箇所の指定はあるのか。	PC グラウト界面で試料採取が理想ではあるが、界面箇所の特定が困難であると考え、スパン中央側に追加削孔を行い試料採取を行うことを考えている。
7	塩分量調査の際に、腐食生成物の調査を行う予定はあるか。	塩分量調査のタイミングで腐食生成物の調査は行わない。PC 鋼材に著しい腐食が確認された場合など、実施する可能性はある。
8	シースの腐食状況の写真撮影について、シースの外側・内側両方実施するのか。	外側・内側両方の写真撮影を実施する。
9	各和橋ははく落対策が実施しており、外観変状(ひび割れ等)が把握しづらいと思うが、どう考えれば良いか。また、削孔個所の補修方法は？	はく落対策施工前のクラック等の点検結果や補修記録はNEXCOより提供する予定。φ25mm削孔後の補修については、工事契約後に受発注者協議の上、決定することを考えている。

■ PC グラウト事業説明会(名古屋会場)質疑応答

番号	質問	回答
1	残存プレストレス調査を行う場合も、専門家の意見を伺うこととなるのか。	残存プレストレス調査を行う場合に専門家の意見徴収は考えていない。